

地域活性化活動助成事業活動概要

防府市立桑山中学校

1 はじめに

本校は、防府市の中心部に位置し、全校生徒676名、25学級の市内で最も規模の大きい学校である。

生徒は、生徒会の本年度スローガン「邁進～頂は桑にあり～」を常に意識して学校生活を送っており、学校行事や委員会活動等に主体的に取り組んでいる。特に委員会活動への取組は、「桑山中学校をよりよくしたい」という気持ちが伝わってくるほど意欲的である。

保護者や地域の方も学校教育に関心が高く、大変協力的であり、コミュニティ・スクールに係る「学校支援」の取組も充実している。その中でも、「花飾りプロジェクト」や「読み聞かせ」といった活動に、生徒も大変感謝している。



2 活動の概要

(1)「花飾りプロジェクト」の活動について

「花飾りプロジェクト」とは、週に1回、保護者や地域の方が来校し、校舎内（玄関や各教室等）に花瓶に生けた花を飾る活動のことである。

参加者の多くは、「生徒にお礼を言われることがうれしい」「新しい友達ができるので楽しい」と、この活動に「やりがい」と「充実感」を感じている。このためか、活動の輪が広がり、ボランティア活動であるにもかかわらず、多くの方がこの活動に参加している。

また、教室からこぼれてくる笑い声や真剣に授業に取り組む生徒の姿から参加者は充足感を得ているようである。

ここ数年は、花を飾っていただく活動に加え、七夕やハロウィン、クリスマスといったイベントにあわせた飾りつけも行っており、生徒は季節感あふれるすばらしい環境の中で生活を送ることができている。



(2) 「七夕飾り」の設置

7月7日の七夕が近づくと、生徒昇降口に保護者や地域の方が笹を設置して下さる。手作りの短冊やこよりも準備していただき、生徒はその短冊に願いを書き、思いを込めながら笹に取り付けている。

学習面や部活動にかかわる目標や願いを書いた短冊をうれしそうに取り付ける生徒の姿に、地域や保護者の方も自然と笑顔であふれている。



(3) 「ハロウィン飾り」の設置

今年度は、花飾りプロジェクトのみなさんに御提案、御協力をいただき、ハロウィンの飾りつけを行った。

ハロウィンといえば「かぼちゃ」。そのかぼちゃも御提供いただき、素敵なランタンが制作され、飾られた。このランタンを生徒たちはわくわくした気持ちで眺めていた。

保護者や地域の方は、学校や生徒のためになることを考え、提案し、実行することに大変喜びを感じてくださっているようである。



(4) 「クリスマスツリー」の設置

クリスマスの時期になると、生徒昇降口と正面玄関にクリスマスツリーが設置される。また、教室に生けられる花もクリスマスバージョンになり、学校はクリスマスムード一色になる。

受験生である3年生も、この温かい雰囲気に入れ、少しほっとした表情になっている。

今年は、各学級のよさ等が紹介された飾りもつけられており、来校した保護者も足を止めて見ていた。



3 おわりに

花瓶に生けられた美しい花が、校舎内のあちらこちらで咲いている。そのすばらしい環境のなかで学校生活を送っている生徒の笑顔も咲いている。

しかし、それ以上に、輝きを放っているのは、この活動に「生きがい」を感じている参加者の皆さんの笑顔である。

その笑顔に、生徒も教職員も元気をいただいている。生徒が落ち着いて学校生活を送れているのも、美しい花と香りに包まれた素晴らしい環境が整備されているからこそであると考えます。

この活動を継続し、学校、地域をもっと元気にしていきたい。